別記様式第３　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　**（　記　入　例　）**

履　　　歴　　　書

2012年　○月　○日

**※日付は全て西暦で記入**

（ふりがな）　　　つくば　はなこ

氏　　　　名：　　筑波　花子　　　　　　　　　　性別：　女

* **戸籍名のほか、旧姓等を併記してもかまわない。**

**（例　筑波（水戸）花子または水戸（戸籍名：筑波）花子　等）**

生年月日：　　19○○年　○月　○日生（○○歳）

本 籍（国籍）：　　東京都　**※都道府県名のみ記入**

現住所：　　茨城県つくば市○○1-1-1

Eメールアドレス：

電話番号：

学歴（大学以上）：

* **中途退学の場合は、「退学」と記入**

**博士課程を単位取得の上退学した場合は、「単位取得退学」と記入**

* **研究生等の経歴がある場合はこの段に記入**

　 1983年　4月 筑波大学医学専門学群　　入学

　　　 1989年　3月 　　　同　上　　　　　　卒業

　　　 19○○年4月　○○大学○○学部研究生 入学

　　　 19○○年3月　 同　上　　　　　　終了

　　　 1998年　4月 筑波大学大学院博士課程医学研究科形態系専攻　　入学

　　　 2002年　3月 　　　同　上　　　　　　修了

* **資格の記載は一行空ける。↓**

　　　 1989年　5月 医籍登録（第111111号）

　　　 1995年　7月 日本○○外科学会専門医（第1111号）

学　　　　位： 2002年3月 博士（医学）（筑波大学：博甲○○○○号）

* **筑波大学においては、1991年3月以前の学位は「医学博士」**

**それ以降は「博士（医学）」**

職　　　　歴：

　　 　　 1989年4月1日 ～ 1989年5月31日 筑波大学附属病院見学生

　　　　　1989年６月1日　～ 1990年9月30日 筑波大学附属病院医員（研修医）

　　　　　1990年10月1日 ～ 1992年3月31日 筑波○○病院医師

　　　　　1992年4月1日　～ 1996年3月31日 水戸××病院○○医員

　　　　　1996年4月1日　～ 1998年3月30日 筑波大学附属病院医員

　　　　　2002年4月1日　～ 2004年3月31日 筑波大学講師臨床医学系

　　　　　2004年4月1日　～ 現在　　　　　　　 筑波大学大学院人間総合科学研究科講師

* **原則として、常勤の職歴のみとし、職名等を正確に記入すること。ただし、学歴と職歴を通じて空白となる期間があり、その間に非常勤等の職歴がある場合にはこれを記入**
* **外国の機関等における職歴の場合は、その国名も併せて記入**

学会活動等：

　1989年4月 ～ 現在　　　　日本○○外科学会会員

　　　　　1999年7月 ～ 2002年6月 日本○○外科学会評議員

　　　　　1999年4月 　　　 　　　　××振興財団○○賞受賞

* **学会活動、社会活動、受賞歴等の事項を主なもの５件以内を記入**

上記のとおり相違ありません。

　　○　○　○　○

（自　筆　署　名）

別記様式第４

研　究　業　績　目　録

氏　名　（自筆署名）　○　○　○　○　　　　　　　　　　　　2014年　○月　○日現在

* **最近のものから順に記載する。**
* **最近５年間のものの中から、重要と思われる業績を、著書、原著論文等をあわせて５件を記載する。ただし、最近５年以前の研究業績であっても、候補者の業績の中で特に重要な位置づけができるものは１件に限り含めることができる。**
* **本学教員の昇任人事の場合は現職就任以降のものが望ましい。**
* **印刷中のものでも代表的なものは業績の中に含めることができる。ただし、発行者側の査読等を経て正式に受理されたもので、「印刷中」と明記すること。（受理証明要。）**
* **著者リストの本人の氏名に下線をひくこと。**
* **何人の共著の何番目の著者か分かるようにすること。**
* **著者名の英語表記は特に指定しないが、「研究業績目録」及び「全研究業績目録」ともに統一した表記にすること。**

著書**（著者リスト、著書名、発行所、頁、発表年の順に記載する。）**

１．筑波　花子、茨城　太郎：○○に関する研究、今日の免疫治療 改定第２版（日本次郎編）、　　　○○堂、50頁、2005

２．H. Tsukuba, T. Ibaraki, A. Mito: Characterization of ○○. in Modern therapy(White　PA .Red DB.eds)Churchill Livingston, 25～32, 2003

原著論文**（著者リスト、論文名、雑誌名、巻、頁、発表年の順に記載する。）**

１．T. Ibaraki, A. Mito, H. Tsukuba, I. Suzuki, T. Yamada: Development of ○○. ○○ therapy, Vol.7, 27-32, 2006

２．茨城　太郎、筑波　花子: ○○における××の治療、○×学会誌、第43巻、13-17頁、2005

３．H. Tsukuba: Application for ○○. Science of Tsukuba, Vol.32, 54-57, 2004

その他　　　　著書　　件　　　　原著論文　　件　　総説ほか　　　件

別記様式第５

臨床・社会的業績目録

氏　名　（自筆署名）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　2014年　○月　○日現在

* **最近３年間の実績のうち主要なものを記載すること**

　　　（　実　　　　績　）　　　　　　　　　　　　　　（期　間　等）

１　臨床的業績

２　社会的業績

　 　茨城県○○医療審議会委員　　　　　　　　　　　　　　　2004年 ～ 現在

* **委員会委員名等を在任期間の順に記載**

別記様式第６

臨床の計画及び抱負

氏　名　（自筆署名）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　2014年　○月　○日現在

* **本院における臨床を充実させるための自らの計画及び抱負を自由に記載すること。**

全　研　究　業　績　目　録

　　　　　　2014年　○月　○日現在

氏　名　　　○　○　○　○　印

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　**（自筆署名でなくともよいが押印すること）**

* **別記様式第４「研究業績目録」に記載した業績については数字に○をつけること**

**（公募において、募集要項に指定がある場合はその指示に従うこと）**

* **最近のものから順に記載すること**
* **著者名は論文に記載されている順に全員記載し、本人のところに下線を引くこと**

著書**（著者リスト、著書名、発行所、頁、発表年を記載する。）**

１．筑波　花子、茨城　太郎：○○に関する研究、今日の免疫治療 改定第２版（日本次郎編）、　　　○○堂、50頁、2005

２．H. Tsukuba, T. Ibaraki, A. Mito: Characterization of ○○. in Modern therapy(White　PA .Red DB.eds)Churchill Livingston, 25～32, 2003

３．H.Tsukuba, S.Tennoudai, J.Amakubo: Clinical application ○○. Jounal of Tsukuba,

311-314, 1980

原著論文**（著者リスト、論文名、雑誌名、巻、頁、発表年を記載する。）**

**※　日本語の原著論文は、原則として、学会誌に掲載されたものとする。その他の雑誌に掲載されたものは、総説その他として扱うこと。**

１．T. Ibaraki, A. Mito, H. Tsukuba, I. Suzuki, T. Yamada: Development of ○○. ○○ therapy, Vol.7, 27-32, 2006

２．茨城　太郎、筑波　花子: ○○における××の治療、○×学会誌、第43巻、13-17頁、2005

３．H. Tsukuba: Application for ○○. Science of Tsukuba, Vol.32, 54-57, 2004

1. 筑波　花子: ○○に関する研究、○○学会雑誌、第69号、143-148頁、1990**（学位論文）**

**Dissertation形式の学位論文に関しては、番号を付さず、最後に記載すること**

（学位論文）Dissertation形式**（論文名、発表年を記載する。）**

○○を用いた××の研究：2002

総説その他**（原著論文に準じて記載）**

1. 茨城　太郎、水戸　愛子、筑波　花子： ○○症、○○会報、第21号、95-99頁、2002

学会発表**（発表者名（筆頭に置く）、共同発表者名、題目、学会名、発表年を記載する。）**

1. 筑波　花子、山田　太郎、鈴木　一郎：○○○の検討、第43回○○学会学術集会、2001